

## 平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	建築計画1 (Architectural Planning 1)		授業コード	C047752
担当教員名	近藤 正一			
配当学年	カリキュラムにより異なります。	開講期	後期	
必修・選択区分	建築コース (選択必修) インテリアデザインコース (選択必修) 環境・地域創生コース (選択)	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	建築学の基礎を成す科目のうちのひとつです。この講義で学んだ知識を、今後学んでいく専門科目につなげていけるよう、しっかりと勉強してください。また、レポート提出に電子メールを活用することがあるので、大学の施設や携帯電話等で使用できるようにしておくことが望ましいです。			
受講心得	講義の内容をその時間内に理解するよう心がけてください。建築計画は、知識を学び教養とする分野、概念を理解し応用する分野、数値を記憶し操作する分野に分けることができます。それぞれの勉強の仕方を講義の中で修得していきましょう。			
教科書	コンパクト建築設計資料集成(丸善) 日本建築学会編			
参考文献及び指定図書	随時紹介します。			
関連科目	製図1・2、設計製図1、建築計画2 など			

授業の目的	建築を設計するための理論と手法を体系化した学問が建築計画学です。建築計画を学ぶことにより、ある程度の造形力や空間創造力を身につけることができます。
授業の概要	この講義では、建築計画の基礎を学びます。建築の成立構造をとくに構法・機能・造形に着眼して説明します。講義は多数の建築写真、建築図面を用いて、建築の基本計画の概要をビジュアルに明らかにします。各自の設計手法確立の一助となることを期待します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：建築計画の内容と建築の成り立ち</b> 建築計画で何を学ぶのかを説明し、建築に関する職種とその概要、大学で行われる建築設計教育のプロセスについて説明します。また、鉄筋コンクリート、鉄、木など、建築の材料と構法との関係について学びます。授業内容について課題を出します。	配付資料 演習課題・解答例
<b>第2週：世界の建築と近代建築の五原則</b> 世界の様々な建築を紹介します。空間の形は何によって決まるのか、歴史的あるいは風土的建築について説明します。また、世界の様々な建築を通して、建築の造形と空間との関係について説明します。授業内容について課題を出します。	配付資料 演習課題・解答例
<b>第3週：モジュールとモデュロール</b> 「モジュール」と「モデュロール」の説明を行います。おもに近現代建築の事例を具体的に分析することによって、建築設計の着眼点について解説します。授業内容について課題を出します。	配付資料 演習課題・解答例
<b>第4週：バリアフリーデザインとユニバーサルデザイン</b> バリアフリーデザインとユニバーサルデザインについて、それぞれの歴史、概念、具体的な事例を紹介しながら理解を深めます。授業内容について課題を出します。	配付資料 演習課題・解答例
<b>第5週：第1回中間試験</b> 第1回～第4回の授業内容についてテストを行います。またテストの模範解答を行い、解説します。	配付資料 演習課題・解答例
<b>第6週：建築の単位</b> 建築で用いられる寸法体系を理解し、身体空間と寸法体系との密接な関わりについて学びます。また、寸法感覚を身につける練習をします。授業内容について課題を出します。	配付資料 演習課題・解答例
<b>第7週：寸法計画の基礎</b> 建築設計資料集成を活用し、さまざまな寸法計画の具体的な事例について実践的に学びます。授業内容について課題を出します。	配付資料 演習課題・解答例
<b>第8週：建築図面の描き方</b>	

<p>平面図、立面図、断面図など、図面の表記法について言及します。授業内容について課題を出します。</p>		<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
<p><b>第9週：建築図面の読み方</b> 建築の設計過程を通して見ることによって、建築計画におけるコンセプトと造形の関係性を説明します。さらに図面と写真を見ながら、平面図と立面図、断面図の相互関係と建築の空間構築の関わり方を説明します。授業内容について課題を出します。</p>		<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
<p><b>第10週：第2回中間試験</b> 第6回～第9回の授業内容についてテストを行います。またテストの模範解答を行い、解説します。</p>		<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
<p><b>第11週：エスキスのしかた</b> さまざまな要素をどのようにしてデザインにまとめ上げていくのか、空間の形成要素をどのように設計することによりどのような効果があるのか、性能評価を交えて講義し、建築を計画する時の着眼点について解説します。授業内容について課題を出します。</p>		<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
<p><b>第12週：外部空間の構成と配置計画</b> 外部空間とのつながりを持たない建築空間はあり得ません。外部空間を建築空間の延長線上にとらえ、空間をどのように構成していくのかについて、具体的に説明します。授業内容について課題を出します。</p>		<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
<p><b>第13週：建築計画の実践</b> 建築作品のエスキスを介して、建築計画のあり方を説明します。建築計画とコンセプト、建築空間、建築内で展開する生活像の関係を総合的に把握するための演習をします。授業内容について課題を出します。</p>		<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
<p><b>第14週：第3回中間試験</b> 第11回～第13回の授業内容についてテストを行います。またテストの模範解答を行い、解説します。</p>		<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
<p><b>第15週：自己点検授業</b> 授業で学習した内容の総括を行い、学生自身に学習達成の程度を自己点検させます。学習目標が達成されているかを、個々の学生の成績評価を示して説明します。</p>		<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
<p>授業の運営方法</p>	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

<p>○単位を修得するために達成すべき到達目標</p>	
<p>【関心・意欲・態度】</p>	
<p>【知識・理解】</p>	<p>①建築計画の基礎知識を学び教養として身につける。 ②建築計画に関わる基礎的な数値を記憶し操作することができる。</p>
<p>【技能・表現・コミュニケーション】</p>	<p>③建築計画を図面に表現するための基礎知識を身につける。</p>
<p>【思考・判断・創造】</p>	<p>④建築計画の基礎的な諸概念を理解し応用することができる。 ⑤建築計画を実践的に活用するための素養を身につける。</p>

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	51点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			5点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		44点		

**(「人間力」について)**

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

**○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安**

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	原則として毎回、講義の最後に授業内容について課題を出します。提出をもって出席に代えますので、課題が課されたら、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。  [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他(無形成果)	「自己点検授業」で建築計画の基礎知識を活かす能力がどの程度身についているかを評価します。達成水準の目安は以下の通りです。  [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。